

スマート暮らし実証事業について

福井県 環境政策課

嶺南西部地域低炭素の街づくり推進協議会における位置付け(平成24年度)

テーマごとにWGを設置して、スマコミ構想に掲げる6つの“基本方針”を推進

6つの基本方針

年度当初から始動するWG

WGの立上げを検討する分野

1 エネルギーロスの少ない豊かな暮らしと賑わいの創出

進捗確認WG

県、高浜町、おおい町、福大、関電

スマート暮らしWG

県、高浜町、おおい町、福工大、エネゲートほか

伝統的民家のスマート改修

低炭素型の中心市街地活性化

2 環境負荷が少なく、元気な農業・漁業を展開

オールシーズン園芸WG

県、高浜町、おおい町、関電

※嶺南地域エコ園芸推進協議会(県園芸畜産課事務局)と連携

低炭素型漁業の振興

3 交通弱者にも地球にもやさしく、便利な交通システムの確立

オンデマンド交通WG

県、高浜町、東大、関電

※福井クールアース次世代エネルギー産業化協議会(県地域産業・技術振興課事務局)と連携

地域に適したEV利用の推進

4 地域に埋もれているエネルギーをおこして、まちおこしにも活用

地域の再エネ資源発掘

5 環境性能に優れ、緊急時にも対応できるエネルギーシステムの構築

エネルギーシステムWG

県、高浜町、おおい町、福大、関電

公共施設の低炭素化改修

6 低炭素のまちづくりの自律的・自発的な推進を支える人と文化の育成

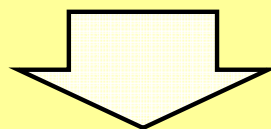
地域に即した環境教育

今後、具体的に調整

2 事業概要

福井の気候・家屋に適した「暮らし」のあり方を確立

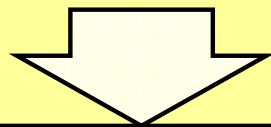
- ・ 家庭部門の低炭素化を進めるためには、ハード面だけでなく、住民の「暮らし方」の改善も重要な要素
- ・ HEMS (Home Energy Management System) によるエネルギー使用量の「見える化」を通し、嶺南西部地域の気候・家屋に適した「スマート暮らし」(CO2排出量の少ない生活形態)のあり方を検証



住民に「スマート暮らし」を提案

- ・ 検証結果を嶺南西部地域をはじめとする県内他地域に横展開し、家庭部門からのCO2排出量を削減

ほぼ同じ条件下(地域・気候・住宅性能等)で、達成された削減効果を定量的に見せることで、実証実験に参加していなかった同地域の住民にも、省エネ意識の変化を促す。



低炭素の街づくりを推進

3 体制と役割

